



⑤千里緑地豊中コース

～かつての千里丘陵の姿に想いをはせる～

千里緑地の遊歩道を辿れば、かつての千里丘陵の姿を留める雑木林や竹林に出会います。中でも散策のおすすめは、新千里南町3丁目西側の竹林、2丁目西側の島熊山窯跡から中央環状線に至る林の中の公園、新千里西町2丁目の千里少年文化館南側の雑木林、豊寿荘裏のアカマツ林などです。

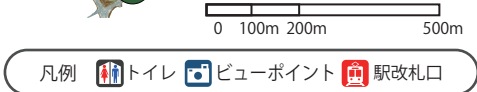


- スタート
- 北大阪急行 桃山台駅北改札口
- ① 桃山台駅歩道橋
 - ② つばき公園
 - ③ つばき橋
 - ④ 千里緑地入口(千里会館北側)
 - ⑤ 二ノ切池公園
 - ⑥ 島熊山窯跡
 - ⑦ あかり絵のみち
 - ⑧ 豊中不動尊前バス停
 - ⑨ 千里西町外回り線
 - ⑩ 新千里西町1交差点
- ゴール
- 千里文化センターコラボ・千里中央駅
- 合計 約6.2km

豊中不動尊境内には島熊山を詠んだ万葉集の歌碑があります。 **P.14参照**
 なお、竹林は、新千里南町3丁目は「天竺川ホタルの会」、新千里西町3丁目は「島熊山の雑木林を守る会」が、千里少年文化館南側の雑木林は「島熊山緑地協議会」がそれぞれ整備・保全活動を行っています。



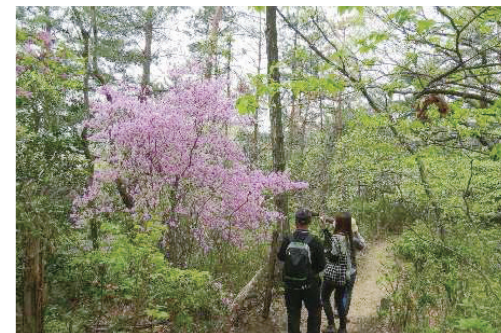
新千里西町島熊山緑地の竹林



自然あれこれ

●千里緑地の役割と貴重な自然環境

千里緑地は、30~100m幅のグリーンベルトで、千里ニュータウン内の都市化が周辺に無秩序に広がることを防ぐとともに、緑の環境や景観を保つ役割があります。緑地内には、コナラ、アカマツ、モウソウチク、ヤマハゼ、コバノミツバツツジなどが生息しています。また、多くの野鳥や昆虫、動物も見られるなど、開発前の雑木林の姿を伝える貴重な自然環境です。



コバノミツバツツジ (新千里西町の千里緑地)

●苗木の供給基地・苗圃(びょうほ)

千里ニュータウン建設のために造成された土地は広大で、造成地を新たに緑化するために大量の苗木が必要でした。大阪府は昭和37年(1962年)に苗木を育てる約6万㎡の苗圃を千里北公園の中に設けました。ここで樹木を試験的に育て、その中から千里ニュータウンの土地に合った樹種が選ばれて植えられていきました。昭和44年(1969年)までに約80万本、100種類以上の苗木が造成地に植えられ、緑豊かな千里の今につながっています。



写真-24 千里北公園にあった苗圃

●まち並みに個性を生み出す街路樹

街路樹は、画一的な景観になりがちな都市景観に変化を生み出すために、12の住区や幹線道路それぞれに異なる樹種が選ばれました。住区ごとにテーマ樹を定めることによって、住民の「わがまち意識」が育まれるようにとの計画者の思いが込められています。

住区ごとの並木道の個性や街路樹の四季折々の表情を楽しむ千里ニュータウン自然散策もおススメです。

住区と道路	樹種	住区	樹種
新千里北町	チャンチン	津雲台	クス
新千里東町	ソメイヨシノ	高野台	サワグルミ アオギリ
新千里西町	ユリノキ	佐竹台	アメリカフ タイワンフ
新千里南町	イチヨウ	桃山台	シダレヤナギ
千里南筋 (千里1号線)	イチヨウ	竹見台	アキニレ
千里東筋 (千里2号線)	ケヤキ	青山台	ナンキンハゼ
千里北筋 (千里3号線)	セイヨウトリネコ	藤白台	アメリカフ トウカエデ
千里山手筋 (千里4号線)	オオシマザクラ ソメイヨシノ	古江台	ネグンドカエ デシンジュ

住区と幹線道路の街路樹の樹種

●公園の池は野鳥の楽園

かつて農業用のため池だった公園の池は、カルガモ、ホオジロガモ、ヨシガモ、キンクロハジロ、オシドリ、カワセミ、バンをはじめ、多くの野鳥のすみかや渡り鳥の休憩地になっています。千里北公園・蓮間池、千里中央公園・安場池、千里南公園・牛ヶ首池のほか、千里東町公園・長谷池、榎ノ木公園・榎ノ木池、桃山公園・春日大池などが野鳥観察のポイントとして知られています。なお、千里北公園は「野鳥楽園」として千里八景の一つに選ばれています。



千里南公園牛ヶ首池・野鳥観察ポイント